

環境実績データ

環境会計

環境保全活動に投入したコストとその効果を把握し、活動の効率化を図っています。

集計期間：2020年4月～2021年3月

集計基準：「環境会計ガイドライン」を参考に、マツダ独自の基準で集計しています。

集計範囲：マツダ(株)ならびに連結子会社 国内21社・海外14社／持分法適用会社
国内8社・海外5社

環境保全コスト

(単位：百万円)

分類	主要活動内容	マツダ単体			マツダグループ全体			
		投資額	経費額	合計	投資額	経費額	合計	
事業 エリア	公害防止	1,546	1,870	3,416	1,997	2,487	4,484	
	地球環境保全	3,167	2,184	5,350	3,342	2,361	5,703	
	資源循環	161	1,329	1,490	189	3,125	3,314	
	上下流	0	142	142	0	150	150	
	管理活動	1	946	947	1	1,423	1,425	
	研究開発	1,195	41,129	42,324	1,290	42,709	43,999	
	社会活動	0	36	36	0	65	65	
	環境損傷	—	0	0	0	1	1	
		合計	6,070	47,636	53,705	6,819	52,321	59,141

環境保全効果

分類	マツダ単体		マツダグループ全体		
	環境保全効果	経済効果 (単位：百万円)	経済効果 (単位：百万円)		
地球環境保全	生産領域	CO ₂ 排出量(売上高当たり)	16.2 t-CO ₂ /億円	—	—
	物流領域	年間輸送量	45,435万 t-km/年	—	—
資源循環	資源有効活用・リサイクル	シェル砂	9,732t/年	28	1,033
		銅屑類	18,359t/年	1,005	
上下流	製品・商品のリサイクル	廃バンパー回収本数	46,515本/年	—	21
		金属類	79,194t/年	1,618	
その他	有価物売却	シンナー、廃液	550t/年		1,648
		空ドラム、ホイール、廃タイヤ	16,103本/年	30	
		回収砂、プラスチック類、段ボール屑	5,476t/年		
	合計			2,681	2,702

集計範囲

マツダ(株)

連結子会社

国内21社 製造会社：マツダエース(株)／マツダロジスティクス(株)／倉敷化工(株)／(株)マツダE&T

車両販売会社：マツダ中販(株)／(株)函館マツダ／(株)東北マツダ／(株)福島マツダ／(株)北関東マツダ／(株)甲信マツダ／(株)関東マツダ／静岡マツダ(株)／東海マツダ販売(株)／(株)北陸マツダ／(株)京滋マツダ／(株)関西マツダ／(株)西四国マツダ／(株)九州マツダ／(株)南九州マツダ／沖縄マツダ販売(株)

部品販売会社：マツダパーツ(株)

海外14社

マツダカナダ,Inc.／マツダモーターマフファクトウリングデメヒコS.A. deC.V.／マツダモーターズ(ドイツランド) GmbH／

マツダモーターヨーロッパGmbH／マツダモーターズUK Ltd.／マツダモーターロシア,OOO／

マツダオーストラリアPty.Ltd.／マツダモーターズオブニュージーランドLtd.／マツダセルス(タイランド) Co.,Ltd.／

マツダパワートレインマニュファクチャリング(タイランド) Co.,Ltd.／マツダ(中国)企業管理有限公司／台湾マツダ汽車股份有限公司／マツダサザンアフリカ(Pty) Ltd.／

マツダデコロンビアS.A.S.

持分法適用会社

国内8社 トーヨーエテック(株)／(株)日本クライメイトシステムズ／ヨシフ工業(株)／(株)サンフレッチェ広島／(株)マツダプロセシング中国／マツダクレジット(株)／

MCMエネルギーサービス(株)／マツダ部品広島販売(株)

海外5社

マツダソラズマフファクトウリングルースLLC／オートアライアンス(タイランド) Co.,Ltd.／長安マツダ汽車有限公司／長安マツダエンジン有限公司／

一汽マツダ汽車販売有限公司

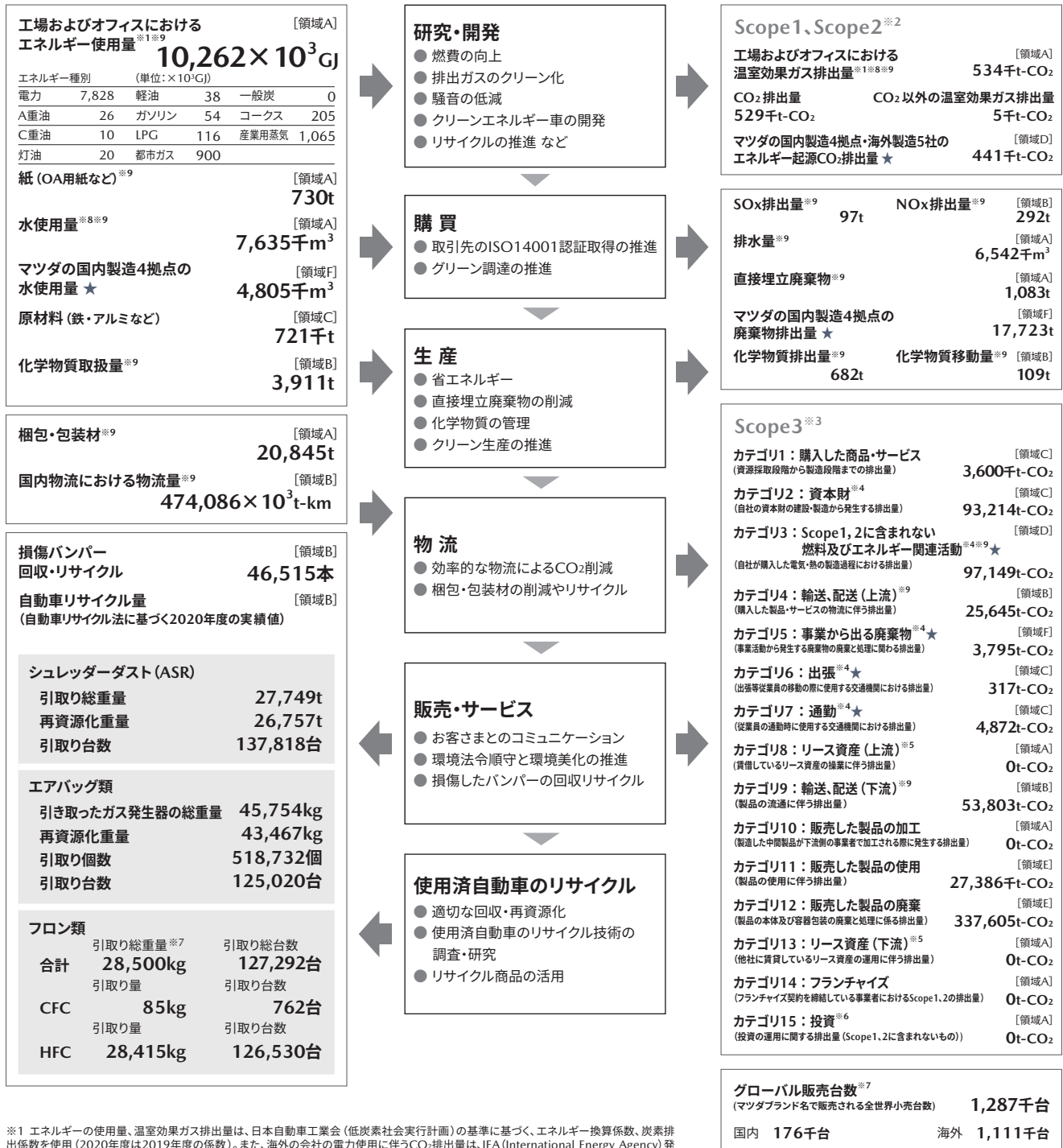
事業活動と環境負荷の全容

2020年度実績

事業活動の全ての領域で環境負荷の低減に取り組むために環境データの把握に努めています。

(集計期間・集計範囲(領域A~F)についてはP127参照)

★ 第三者検証対象項目
(P134参照)



※1 エネルギーの使用量、温室効果ガス排出量は、日本自動車工業会(低炭素社会実行計画)の基準に基づく、エネルギー換算係数、炭素排出係数を使用(2020年度は2019年度の係数)。また、海外の会社の電力使用に伴うCO₂排出量は、IEA(International Energy Agency)発行の「IEA Emission factors 2019」の係数を使用し算出。

※2 Scope 1: 燃料の使用や工業プロセスにおける排出量などの直接排出、Scope 2: 購入した熱・電力の使用に伴う排出(エネルギー起源の間接排出)。

※3 Scope 3: その他の間接排出。環境省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインVer2.3_2017年12月」をベースにマツダ独自の計算方法で算出。
(出典) https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/GuideLine_ver2.3.pdf

※4 環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出量原単位データベース(ver3.1)_2021年3月」に基づき算出。
(出典) https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/DB_V3-1.xlsx

※5 カテゴリ8、カテゴリ13は、工場およびオフィスにおける温室効果ガス排出量に含まれる。

※6 カテゴリ15はグループ会社については、工場およびオフィスにおける温室効果ガス排出量に含まれる。

※7 合計の数値は、各項目の四捨五入の関係上、一致しない場合がある。

※8 第三者検証(P134参照)を受けた値を含む。

※9 連結子会社と持分法適用会社の数値に関しては、当社の株式保有に比例して算出。

集計期間:2020年度(2020年4月~2021年3月)

集計範囲:領域A:マツダ(株)ならびに国内の連結子会社22社/持分法適用会社8社および海外の連結子会社14社/持分法適用会社5社

領域B:マツダ(株)ならびに国内の連結子会社22社/持分法適用会社8社

領域C:マツダ(株)

領域D:マツダ(株)の国内製造4拠点ならびに海外製造5社(連結子会社2社/持分法適用会社3社)

領域E:国内および主要販売地域(北米、欧州、中国)

領域F:マツダ(株)の国内製造4拠点(本社(広島)/三次事業所/防府工場 西浦地区/防府工場 中間地区(開発など間接領域も含む))

マツダ(株) 本社/本社工場/三次事業所/防府工場 西浦地区/防府工場 中間地区/東京本社/大阪法人営業/マツダR&Dセンター横浜/北海道釧路試験場/北海道中札内試験場/美祿自動車試験場/パーツセンター(全2カ所)/マツダテクニカルサービスセンター(全6カ所)/マツダトレーニングセンター(全2カ所)/マツダ坂スタジオ/マツダ教育センター/マツダ病院

連結子会社

国内22社 製造会社:マツダエース(株)/マツダロジスティクス(株)/倉敷化工(株)/(株)マツダE&T

販売会社:マツダ中販(株)/マツダモーターインターナショナル(株)/(株)函館マツダ/(株)東北マツダ/(株)福島マツダ/(株)北関東マツダ/

(株)甲信マツダ/(株)関東マツダ/静岡マツダ(株)/東海マツダ販売(株)/(株)北陸マツダ/(株)京滋マツダ/(株)関西マツダ/(株)西四国マツダ/

(株)九州マツダ/(株)南九州マツダ/沖縄マツダ販売(株)

部品販売会社:マツダパーツ(株)

海外14社 マツダカナダ,Inc./マツダモーターマヌファクチャリングデメヒコS.A. deC.V./マツダモーター(ドイツランド)GmbH/マツダモーターヨーロッパGmbH/

マツダモーターUK Ltd./マツダモーターロシア,OOO/マツダオーストラリアPty.Ltd./マツダモーターオープンニュージーランドLtd./

マツダセールス(タイランド)Co.,Ltd./マツダパワートレインマヌファクチャリング(タイランド)Co.,Ltd./

マツダ(中国)企業管理有限公司/台湾マツダ汽車股份有限公司/マツダサザンアフリカ(Pty) Ltd./マツダデコロンビアS.A.S.

持分法適用会社

国内8社 トーヨーエイテック(株)/(株)日本クライメイトシステムズ/ヨシワ工業(株)/(株)サンフレッチェ広島/(株)マツダプロセッシング中国/

マツダクレジット(株)/MCMエネルギーサービス(株)/マツダ部品広島販売(株)

海外5社 マツダソラーズマヌファクチャリングルースLLC/オートアライアンス(タイランド)Co.,Ltd./長安マツダ汽車有限公司/長安マツダエンジン有限公司/

一汽マツダ汽車販売有限公司

2020年度 水・大気データ

水質汚濁物質

排水の放流先: 猿猴川、海田湾

区分	水質汚濁物質	単位	規制値	実績値		
				最大	最小	平均
本社工場	pH(淡水系)	—	5.8~8.6	7.8	6.5	7.1
	pH(海水系)	—	5.5~9.0	7.5	6.8	7.2
	BOD	mg/L	160	2.7	ND	<1.3
	COD	mg/L	20	1.2	1.6	4.4
	SS	mg/L	200	1.6	ND	<4.9
	油	mg/L	5	0.7	ND	<0.5
	フッ素(淡水系)	mg/L	8	0.2	ND	<0.1
	フッ素(海水系)	mg/L	15	8.5	0.1	2.9
	銅	mg/L	3	0.01	ND	<0.01
	亜鉛	mg/L	2	0.73	0.02	0.15
	溶解性鉄	mg/L	10	0.2	ND	<0.1
	溶解性マンガ	mg/L	10	1	ND	<0.2
	クロム	mg/L	2	0.1	ND	<0.02
	セレン	mg/L	0.1	0.004	ND	<0.002
	全窒素	mg/L	120	11	1.5	4.8
	全リン	mg/L	16	3.2	ND	<0.4
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000	600	ND	<43
	ホウ素(淡水系)	mg/L	10	0.4	ND	<0.2
	ホウ素(海水系)	mg/L	230	3.3	0.1	1.7

上記以外の規制項目、カドミウム、シアン、有機燐、鉛、六価クロム、砒素、水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、1,4-ジオキサン、フェノールは全てNDであった。

排水の放流先: 馬洗川

区分	水質汚濁物質	単位	規制値	実績値		
				最大	最小	平均
三次事業所	pH	—	5.8~8.6	7.6	7.2	7.4
	BOD	mg/L	90	5.7	1.1	3.1
	SS	mg/L	90	1.2	2	6.5
	溶解性マンガ	mg/L	10	0.2	ND	<0.1
	全窒素	mg/L	120	2.4	2.4	2.4
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000	700	ND	<13
	アンモニア、アンモニウム、亜硝酸、硝酸化合物	mg/L	100	2.1	2.1	2.1

上記以外の規制項目、カドミウム、シアン、有機燐、鉛、六価クロム、砒素、水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、フッ素、ほう素、1,4-ジオキサン、油、全リン、フェノール、銅、亜鉛、溶解性鉄、クロムは全てNDであった。

排水の放流先: 大海湾

区分	水質汚濁物質	単位	規制値	実績値		
				最大	最小	平均
防府工場 西浦地区	pH	—	5.0~9.0	7.2	6.1	6.9
	COD	mg/L	50	11.6	2.1	7.1
	SS	mg/L	40	2.1	0.5	1.3
	油	mg/L	2	0.5	0.5	0.5
	亜鉛	mg/L	2	0.59	0.17	0.4
	溶解性マンガ	mg/L	10	0.3	ND	<0.2
	全窒素	mg/L	120	8	0.6	2.9
	全リン	mg/L	16	3.8	0.3	1.9
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000	120	ND	<60
	ホウ素	mg/L	230	1.2	1.2	1.2
	フッ素	mg/L	15	5.6	2.6	4.1
	アンモニア、アンモニウム、亜硝酸、硝酸化合物	mg/L	100	3.0	0.33	1.7

上記以外の規制項目、カドミウム、シアン、有機燐、鉛、六価クロム、砒素、水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、1,4-ジオキサン、フェノール、銅、溶解性鉄、クロムは全てNDであった。

排水の放流先: 大海湾

区分	水質汚濁物質	単位	規制値	実績値		
				最大	最小	平均
防府工場 中間地区	pH	—	5.0~9.0	7.7	6.1	7.2
	COD	mg/L	50	6.2	4.0	4.9
	SS	mg/L	40	1.2	1	2.6
	亜鉛	mg/L	2	0.25	0.1	0.18
	溶解性マンガ	mg/L	10	1.7	ND	<0.9
	全窒素	mg/L	120	14.8	2.0	6.5
	全リン	mg/L	16	1.5	0.08	0.7
	大腸菌群数	個/cm ³	3,000	2	ND	<1
	アンモニア、アンモニウム、亜硝酸、硝酸化合物	mg/L	100	7.5	3.9	5.7

上記以外の規制項目、カドミウム、シアン、有機燐、鉛、六価クロム、砒素、水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、1,4-ジオキサン、油、フェノール、銅、溶解性鉄、クロムは全てNDであった。

大気汚染物質

区分	大気汚染物質	単位	規制値	実績値(最大)	
本社工場	ボイラー	ppm	150	54	
	乾燥炉	ppm	250	120	
	溶解炉	ppm	230	73	
	ディーゼルエンジン	ppm	180	49	
	加熱炉	ppm	950	630	
				200	84
				180	46
				150	93
				0.25	0.011
				0.1	0.0016
本社工場	ボイラー	g/m ³ N	0.4	0.0019	
	乾燥炉	g/m ³ N	0.35	0.0029	
			0.2	0.0063	
			0.15	0.044	
	ばいじん		0.4	0.017	
	溶解炉	g/m ³ N	0.20	0.063	
			0.10	0.002	
	ディーゼルエンジン	g/m ³ N	0.10	0.018	
	加熱炉	g/m ³ N	0.4	0.0042	
			0.25	<0.005	
三次事業所			0.20	0.027	
	SOx	K値規制	—	7	3.8
	VOC	塗装施設	ppm	700	315
		洗浄施設	ppm	400	110
	NOx	ボイラー	ppm	250	150
		ディーゼルエンジン	ppm	950	620
	ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.30	0.012
		ディーゼルエンジン	g/m ³ N	0.10	0.078
	NOx	ボイラー	ppm	150	80
		乾燥炉	ppm	130	110
防府工場 西浦地区	ボイラー	ppm	230	48	
	ボイラー	g/m ³ N	0.10	0.003	
	ばいじん		0.35	0.003	
	乾燥炉	g/m ³ N	0.30	0.004	
			0.20	0.005	
		K値規制	—	4.5	0.149
	SOx	総量規制	m ³ N/h	17.59	0.507
	VOC	塗装施設	ppm	700	270
	NOx	溶解炉	ppm	180	34
	防府工場 中間地区	加熱炉	g/m ³ N	0.25	0.002
ばいじん			0.20	0.002	
溶解炉		g/m ³ N	0.20	0.05	
SOx		K値規制	—	4.5	0.08
		総量規制	m ³ N/h	8.37	0.001

2020年度 PRTR環境汚染物質排出・移動量

(*印は特定第一種指定化学物質 取扱量 500kg/年以上を記載)

本社工場

(単位: kg/年)

物質番号	対象物質群	取扱量	排出量			消費量	除去量	移動量		
			大気	水質	土壌			廃棄物量	リサイクル量	
1	亜鉛の水溶性化合物	36,178	0	579	0	579	31,619	3,980	0	0
53	エチルベンゼン	93,074	25,435	0	0	25,435	33,776	25,451	0	8,412
80	キシレン	358,592	129,559	0	0	129,559	140,894	64,611	0	23,528
87	クロム及び3価クロム化合物	31,065	0	0	0	0	30,467	0	598	0
88*	6価クロム化合物	1,458	0	0	0	0	860	598	0	0
258	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ [3.3.1.1 ^{3,7}]デカン	2,610	0	0	0	0	0	2,610	0	0
277	トリエチルアミン	132,776	797	0	0	797	0	131,979	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	198,006	57,528	0	0	57,528	87,703	52,775	0	0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	23,674	10,680	0	0	10,680	1,246	11,110	0	638
300	トルエン	615,962	97,845	0	0	97,845	290,653	187,837	0	39,627
309*	ニッケル化合物	3,797	0	456	0	456	1,310	0	2,031	0
349	フェノール	20,940	0	1	0	1	0	20,939	0	0
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1,463	0	0	0	0	1,419	0	44	0
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	2,955	0	473	0	473	0	2,482	0	0
392	ノルマル-ヘキサン	113,554	284	0	0	284	97,463	15,807	0	0
400*	ベンゼン	22,380	28	0	0	28	17,456	4,896	0	0
411*	ホルムアルデヒド	1,992	603	0	0	603	0	1,389	0	0
412	マンガン及びその化合物	35,701	0	289	0	289	33,710	0	1,652	50
438	メチルナフタレン	5,141	26	0	0	26	0	5,115	0	0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン) =ジイソシアネート	179,594	0	0	0	0	0	179,594	0	0
453	モリブデン及びその化合物	1,207	0	0	0	0	841	0	53	313
302	ナフタレン	12,738	64	0	0	64	0	12,674	0	0
合計		1,894,857	322,849	1,798	0	324,647	769,417	723,847	4,378	72,568

三次事業所

物質番号	対象物質群	取扱量	排出量			消費量	除去量	移動量		
			大気	水質	土壌			廃棄物量	リサイクル量	
53	エチルベンゼン	1,963	0	0	0	0	1,963	0	0	
80	キシレン	8,337	1	0	0	1	0	8,336	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	5,415	1	0	0	1	0	5,414	0	0
300	トルエン	23,563	8	0	0	8	0	23,555	0	0
392	ノルマル-ヘキサン	3,667	9	0	0	9	0	3,658	0	0
400*	ベンゼン	873	1	0	0	1	0	872	0	0
438	メチルナフタレン	2,416	12	0	0	12	0	2,404	0	0
合計		46,234	32	0	0	32	0	46,202	0	0

防府工場 西浦地区

物質番号	対象物質群	取扱量	排出量			消費量	除去量	移動量		
			大気	水質	土壌			廃棄物量	リサイクル量	
1	亜鉛の水溶性化合物	11,096	0	178	0	178	9,698	1,220	0	0
53	エチルベンゼン	97,018	57,304	0	0	57,304	28,558	11,156	0	0
80	キシレン	190,358	44,263	0	0	44,263	119,098	11,390	0	15,607
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	133,931	39,367	0	0	39,367	74,082	11,256	0	9,226
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	13,851	8,648	0	0	8,648	855	2,067	0	2,281
300	トルエン	432,835	163,913	0	0	163,913	243,822	17,570	0	7,530
309*	ニッケル化合物	2,174	0	261	0	261	750	0	1,163	0
392	ノルマル-ヘキサン	84,077	211	0	0	211	82,980	886	0	0
400*	ベンゼン	14,976	19	0	0	19	14,799	158	0	0
412	マンガン及びその化合物	3,042	0	160	0	160	1,937	0	916	29
合計		983,358	313,725	599	0	314,324	576,579	55,703	2,079	34,673

防府工場 中間地区 届出対象化学物質該当なし (PRTR法対象物質群の取扱量が届出対象量未満のため)

全社

物質番号	対象物質群	取扱量	排出量			消費量	除去量	移動量		
			大気	水質	土壌			廃棄物量	リサイクル量	
合計		2,945,330	636,614	2,397	0	639,011	1,345,996	846,625	6,457	107,241